

「**心で工学**」を合言葉に、
ものづくり ひとづくり 未来づくり



ものづくり ひとづくり 未来づくり

中京地域産業界との共創 ミッション・ビジョン

名古屋工業大学憲章

基本使命

名古屋工業大学は、日本の産業中心地を興し育てることを目的とした中部地域初の官立高等教育機関として設立されたことを尊び、常に新たな産業と文化の揺籃として、革新的な学術・技術を創造し、有為な人材を育成し、これからの社会の平和と幸福に貢献することをその基本使命とする。

ものづくり

名古屋工業大学は、構成員の自由な発想に基づく実践的かつ創造的な研究活動を尊ぶとともに地球規模での研究連携を推進し、既存の工学の枠組みにとらわれることなく、工学が本来有する無限の可能性を信じ、新たな価値の創造に挑戦する。

ひとづくり

名古屋工業大学は、自ら発見し、創造し、挑戦し、行動することで、工学を礎に新たな学術・技術を創出し世界を変革することのできる個性豊かで国際性に富んだ先導的な人材の育成に専心する。

未来づくり

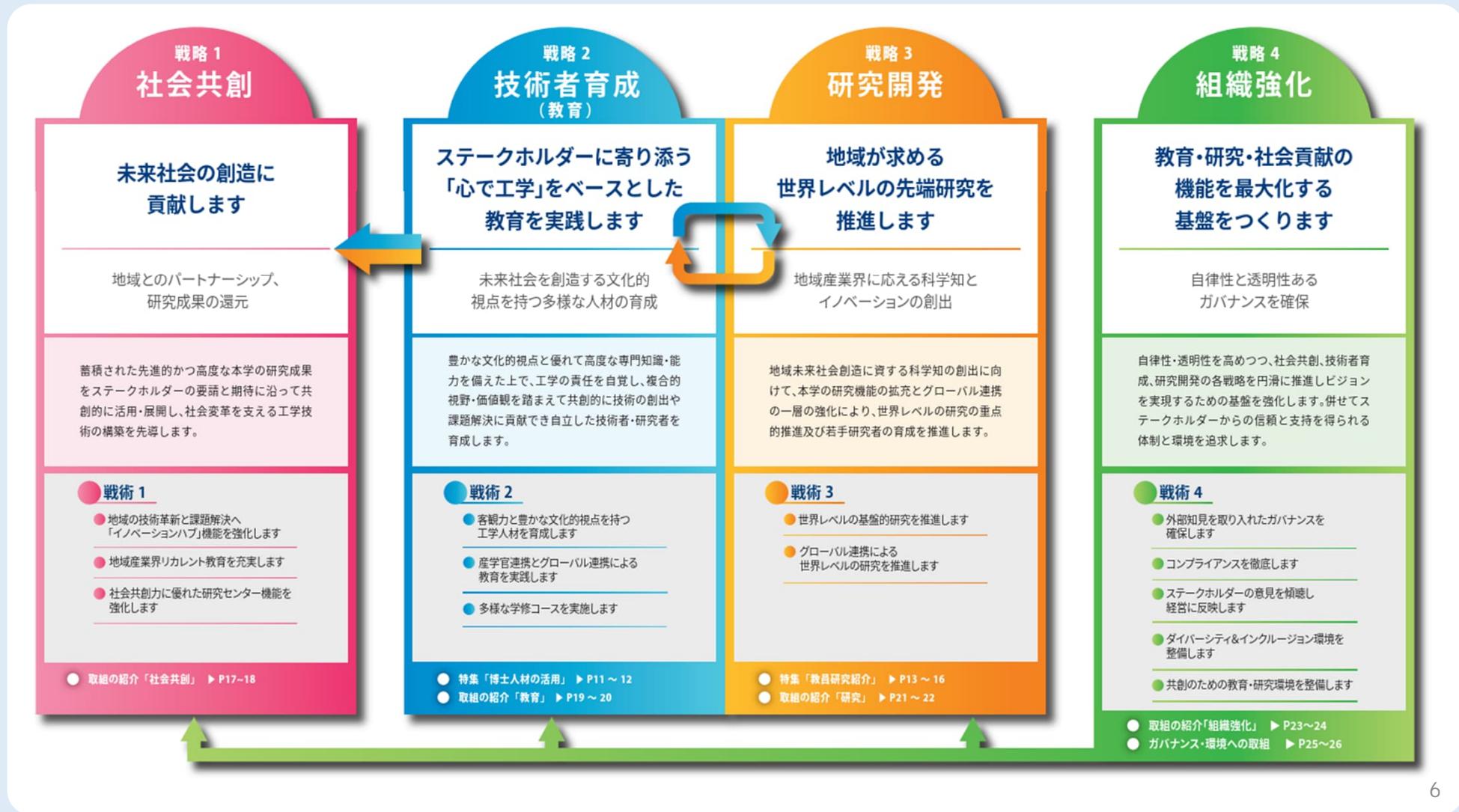
名古屋工業大学は、国民から負託を受けた開かれた大学として地域および国際社会との調和と連携を重視し、ものづくりとひとづくりを通して平和で幸福な未来社会の実現に向けて邁進する。

「**心**で工学」

第4期中期目標期間のビジョン



中京地域産業界との共創 ミッション・ビジョン



小畑学長就任

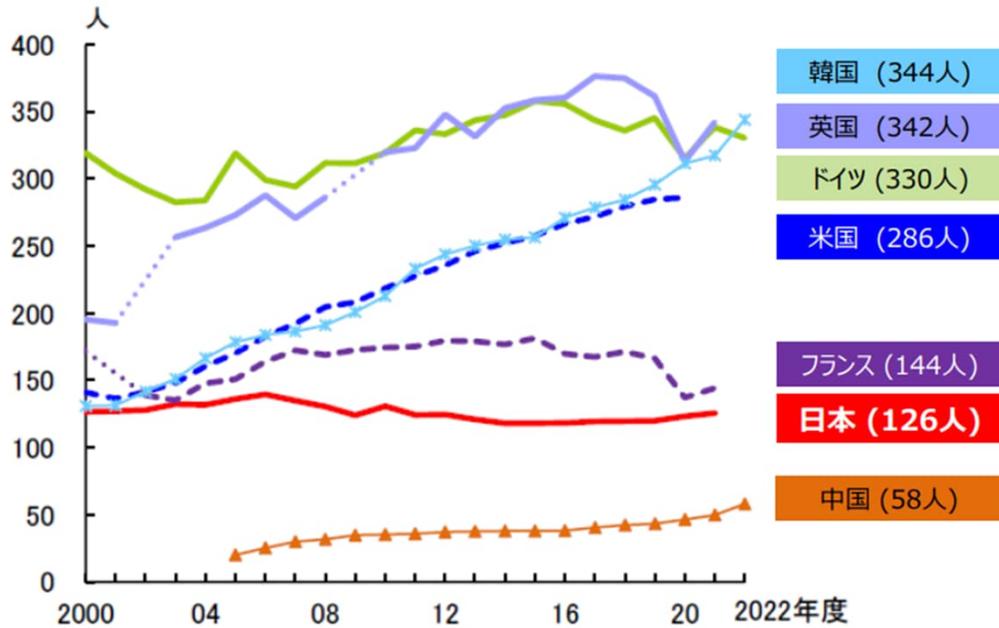
2024年4月 小畑学長就任



博士人材活躍促進のための取組み

博士人材活躍の必要性

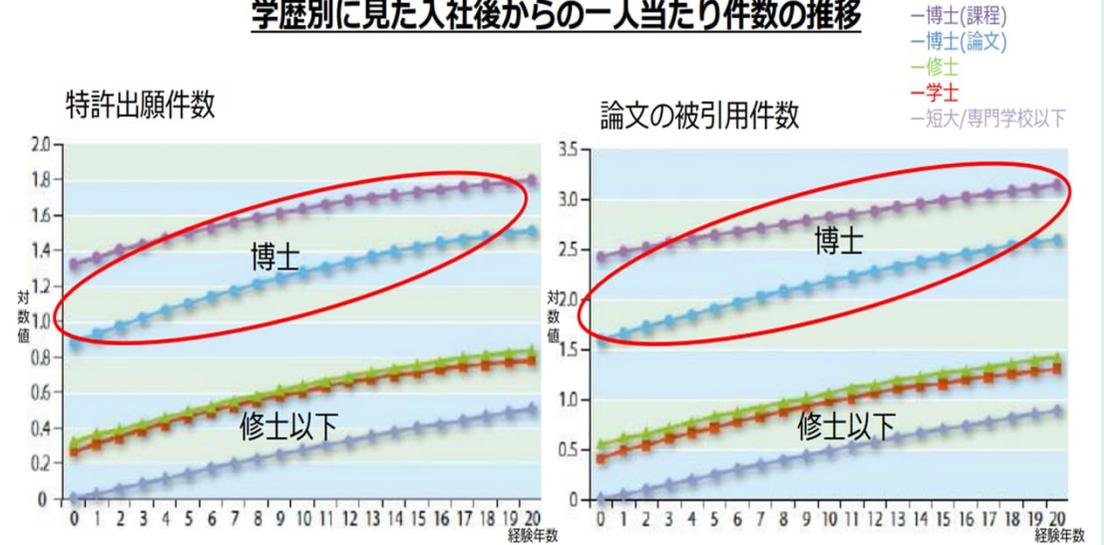
諸外国における人口100万人当たりの博士号取得者数の推移



(注) 米国は2020年度、フランス・日本は2021年度、英国・ドイツ・韓国・中国は2022年度のデータ

出典：科学技術・学術政策研究所「科学技術指標2024」

学歴別に見た入社後からの一人当たり件数の推移



出典：経済産業省「令和5年度技術開発調査等推進事業（博士人材の産業界への入職経路の多様化に関する調査）令和6年3月」をもとに作成。

博士グローバルアカデミー



東海・信州国立大学連携プラットフォーム（C²-FRONTS）で博士人材活躍促進の議論を主導



イノベーションが生まれる“まち”
「TSURUMAIイノベーションパーク」
構想

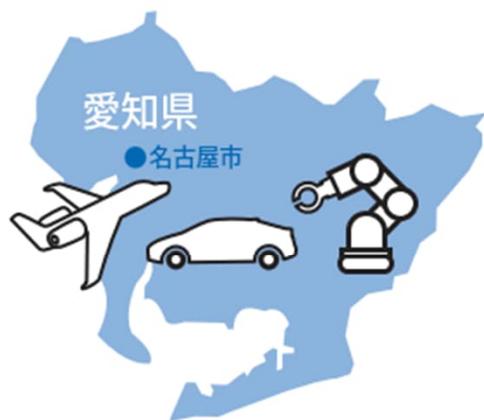
STATION Ai



「TSURUMAI イノベーションパーク」構想

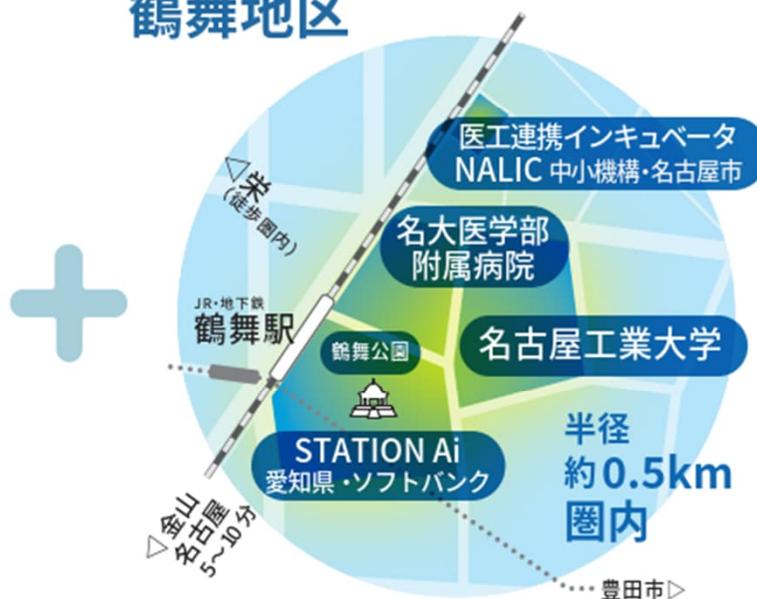
自動車産業や航空宇宙産業など
強い製造業が集積する

中京地区



スタートアップが生まれる環境が整う

鶴舞地区



無限の可能性

イノベーションが生まれる”まち”

TSURUMAI
イノベーションパーク

数字から知る 数字でわかる名工大

学生数・教職員数データ

学生数・教職員数

- ◇工学部：3,933名
- ◇工学部（夜間主）：110名
- ◇大学院工学研究科
博士前期課程：1,492名
博士後期課程：193名

学生数



役員・教職員数

- ◇役員：6名
- ◇教員：347名
(特定有期雇用職員を含む)
- ◇一般職員：219名



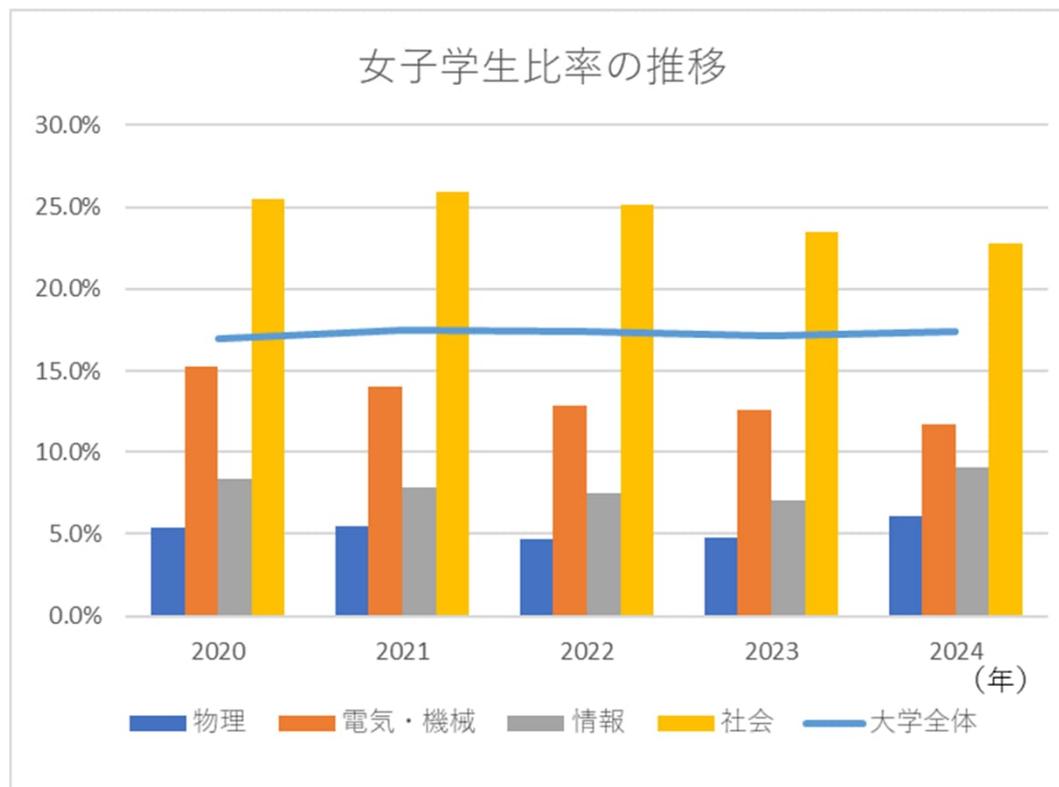
2024年5月1日現在

女子推薦入試の拡大

女子特別推薦

2023年度以前		2024年度以降	
学科名	募集人員	学科名	募集人員
電気・機械	15名	物理	5名
		電気・機械	15名
		情報	5名
		社会(環境都市)	3名
計	15名	計	28名

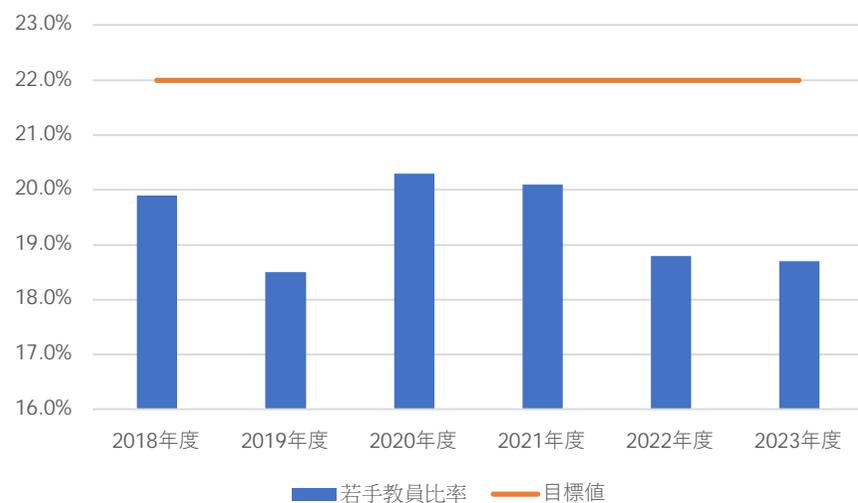
女子学生比率の推移



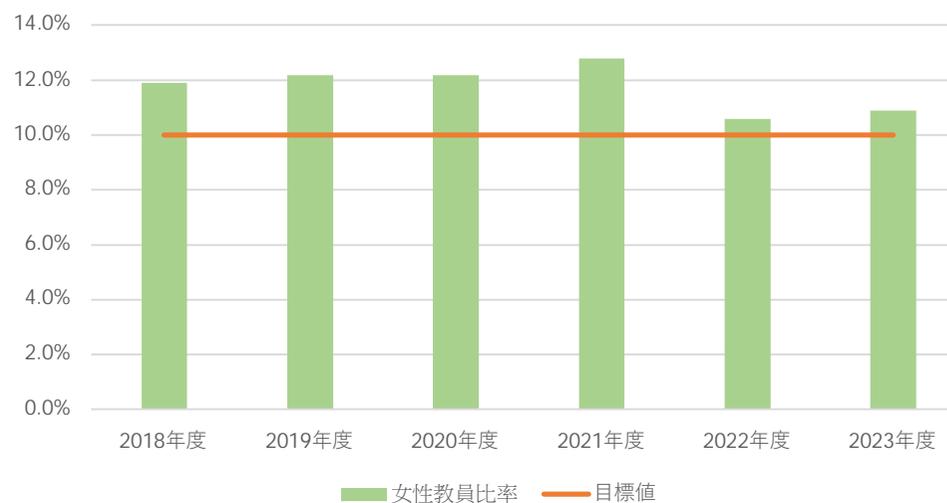
若手教員比率・女性教員比率の目標と現状

本学独自のスタートアップ助教制度や、教員公募で、「若手限定」「女性限定」の条件を付与する等の取組により、目標達成を目指しています。

若手教員比率の推移

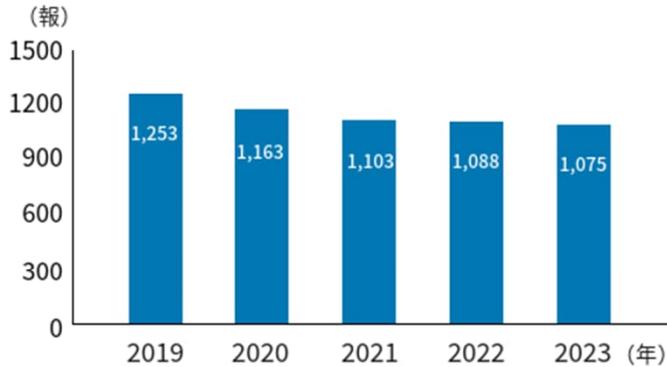


女性教員比率の推移



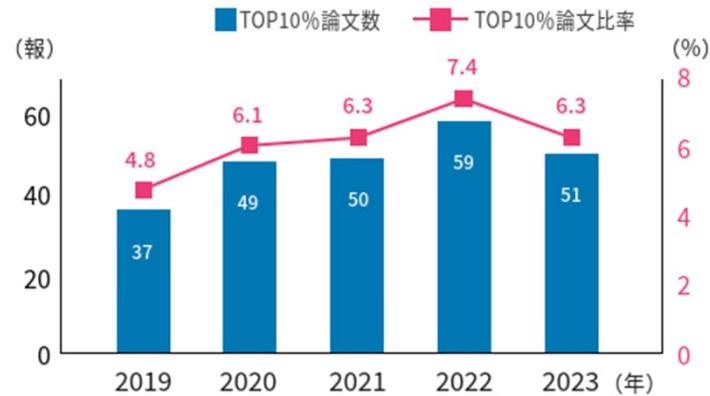
研究のデータ

■ 論文数



※ SciVal(エルゼビア社)および学内研究者データベースより取得した英語及び日本語論文(査読有のみ)(2024年6月)

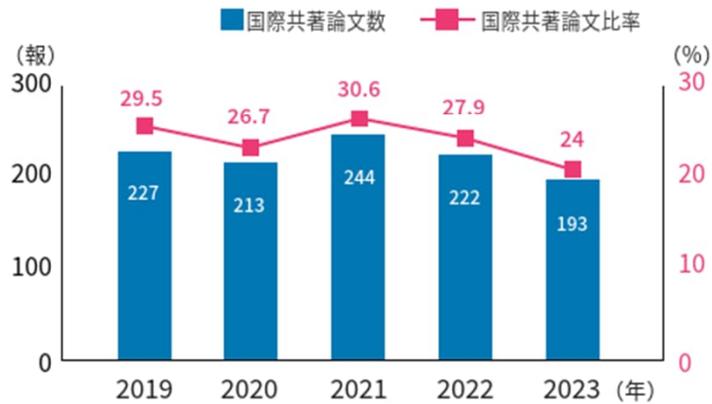
■ TOP10%論文推移



※ SciValより取得(2024年6月)

※ TOP10%論文:論文の被引用数が各分野の上位10%に入る論文

■ 国際共著論文数



※ SciValより取得(2024年6月)

■ Q1ジャーナル論文推移



※ Q1ジャーナル論文:エルゼビア社が提供するジャーナルの評価指数「CiteScore」が、各研究分野において上位25%以内のジャーナルに掲載された論文(2024年6月)

産学連携データ



◇ 研究者1人当たりの研究費受入額 (民間企業との共同研究に伴う) ※

2,047 (千円)

全国 **4位**

◇ 地域社会との産学連携関係 (同一県内企業及び地方公共団体との 共同・受託研究実施件数(地方別)) ※

129 件

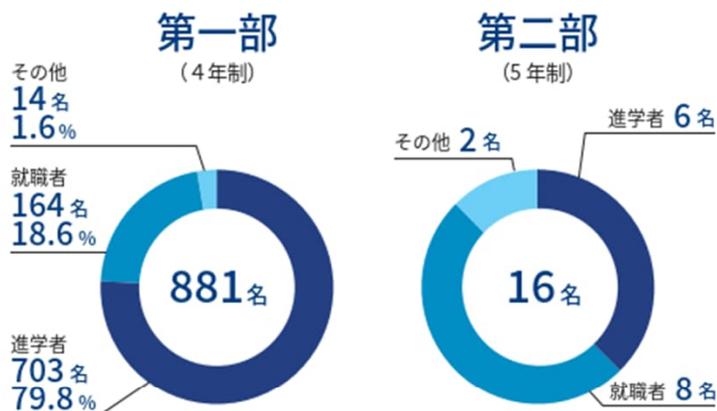
東海地区 **2位**

※ 全国の大学等対象1,076機関における2022年度実績の順位。文部科学省「令和4年度 大学等における産学連携等実施状況について」2024年(令和6年)2月22日更新

進学・就職データ

※2023年度卒業・修了者

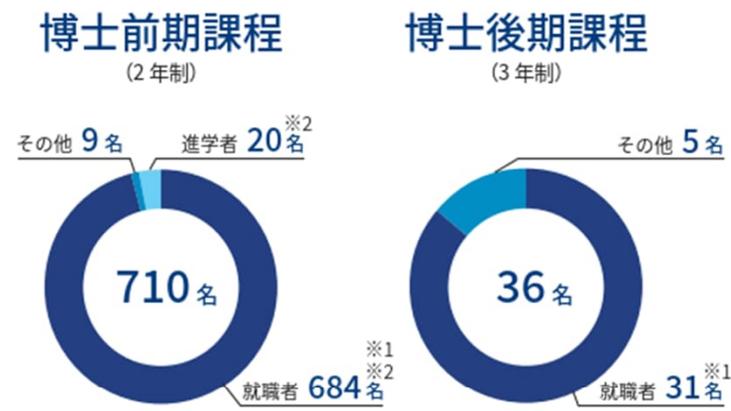
工学部



就職率
求職者 165名に対して **99.4%**

就職率
求職者 8名に対して **100%**

大学院工学研究科



就職率
求職者 688名に対して **99.4%**

就職率
求職者 33名に対して **93.9%**

※1 現職者29名(博士前期課程14名、博士後期課程15名)を含む
 ※2 就職進学者(博士前期課程3名)を含む

学部一部 **約80%**が進学

2024年実就職率ランキング
(卒業生1,000人以上の大学)

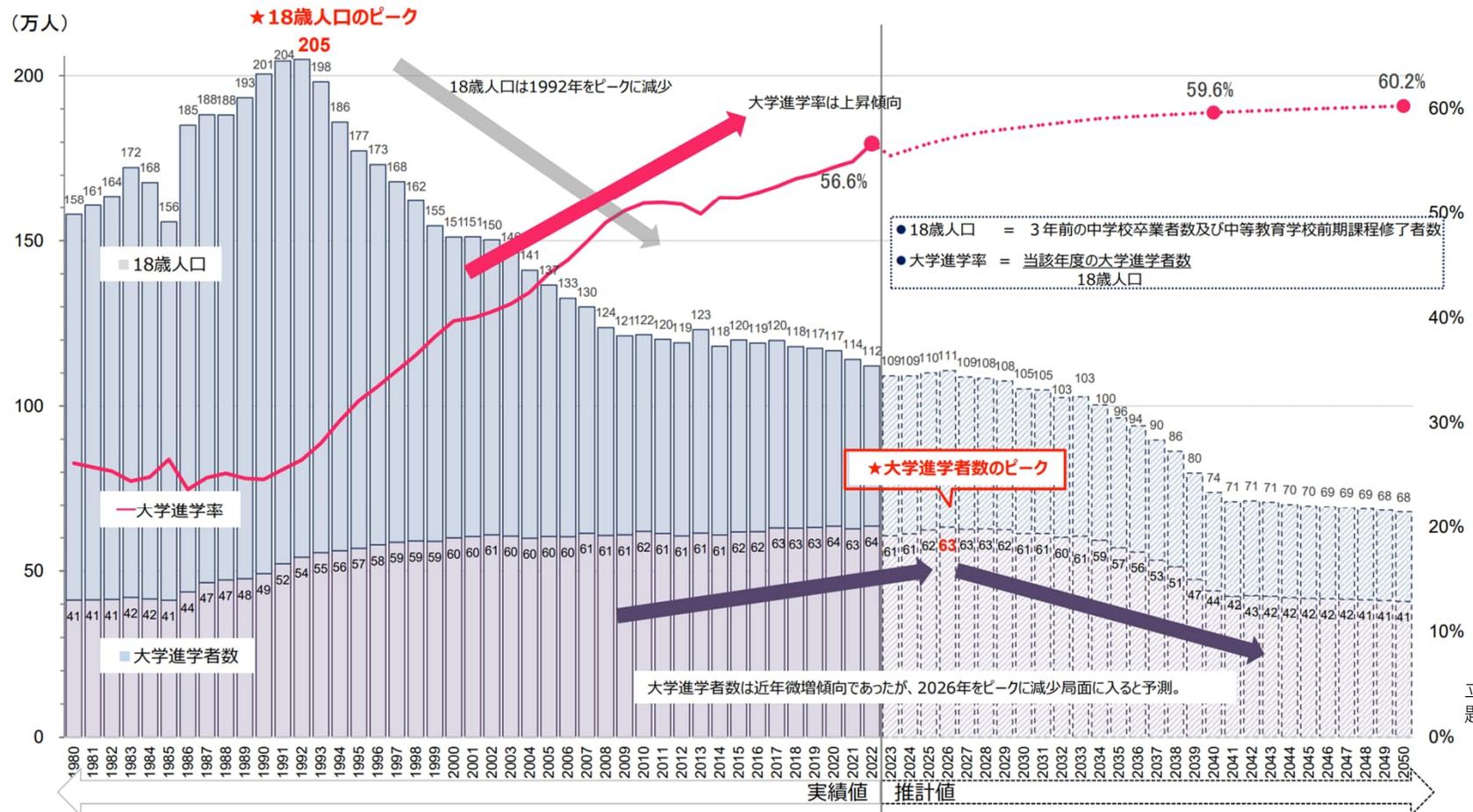
国立大学
ランキング **2位**

(大学通信調べ)

18歳人口の減少と大学進学者 数の見通し

18歳人口減少に関する現状

18歳人口が減少し続ける中でも、大学進学率は上昇し、大学進学者数も増加傾向にあったが、2026年以降は18歳人口の減少に伴い、大学進学率が上昇しても大学進学者数は減少局面に入ると予測される。

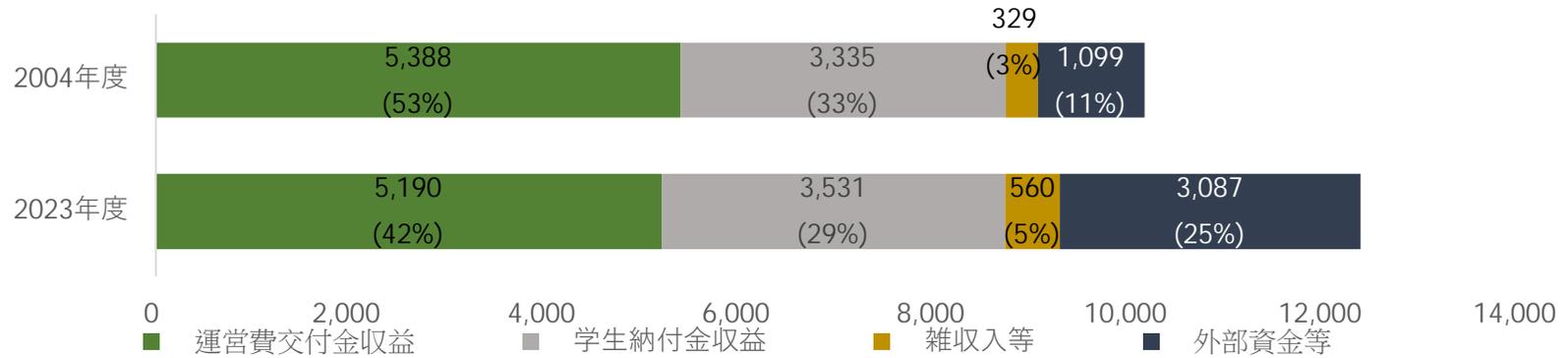


(出典) 推計値・国立社会保障・人口問題研究所

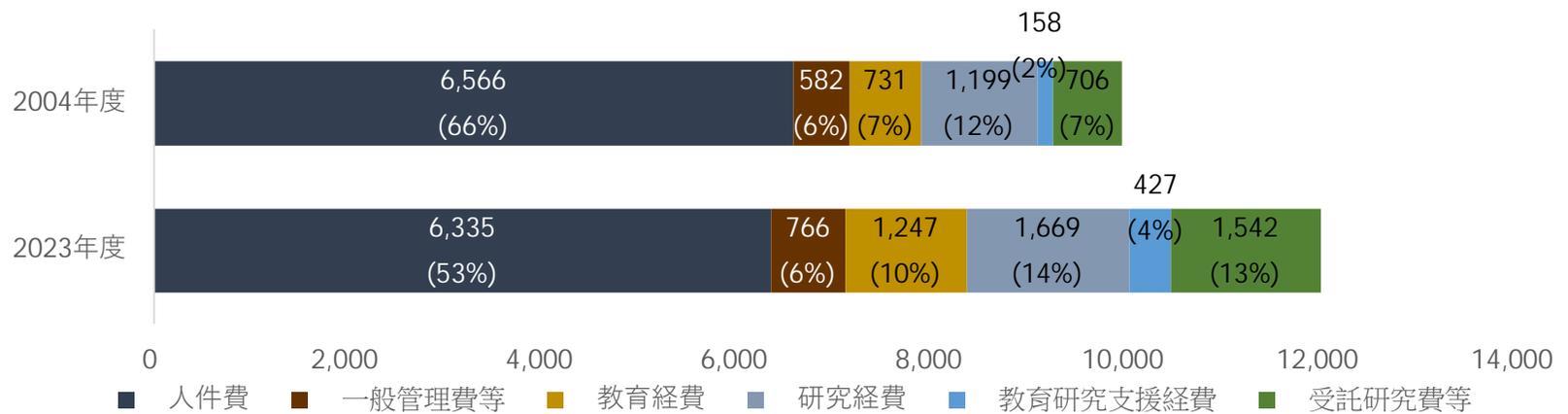
持続可能な財政運営 本学の経営状況と今後の見通し

本学の経営状況と今後の見通し①

【経常収益】

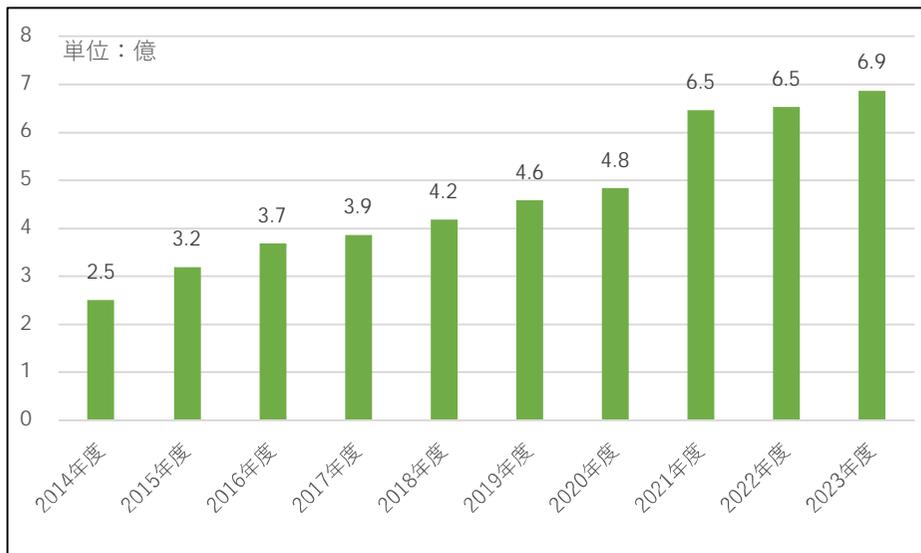


【経常費用】

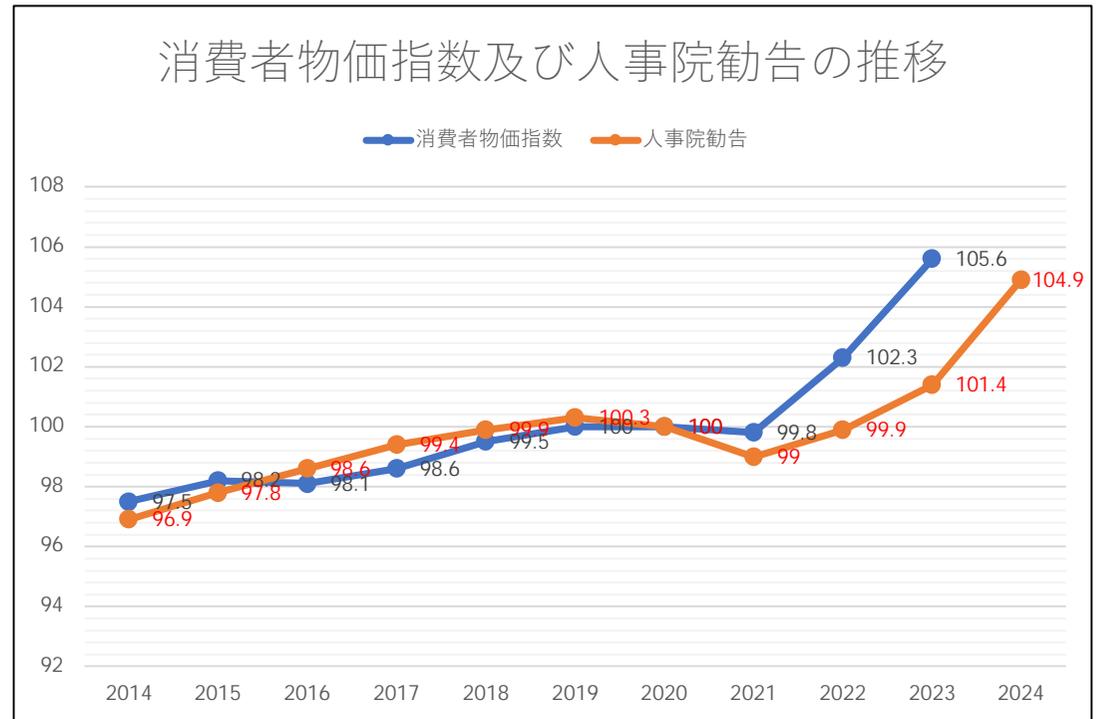


本学の経営状況と今後の見通し②

間接経費受入額の推移（受託・共同研究、科研費）



消費者物価指数及び人事院勧告の推移



次代を切り拓く 高度専門人材育成の最前線

高度情報人材育成事業の採択

未来通信
研究センター

医学工学
プログラム

社会人イノベーション
コース

名古屋市デジタル
人材育成事業

技術と標準の
融合戦略

臨床ニーズ・
実データ

PBL
設計支援

デザイン思考
演習設計支援

実践志向データサイエンス（新設）

デザイン思考

ルールメイキング

システム設計・デバイス組み立てからデータ収集・解析・AI構築・システムの維持管理に至る一貫演習

PBL

長期履修コース

リスキリング

AIの実世界産業応用に不可欠な、人、自然、ハードウェアとの相互作用に軸足を置いてデータサイエンスを学修する新たな科目群を提供する。

情報工学系
プログラム

数理・情報基礎

他系
プログラム

各分野基礎

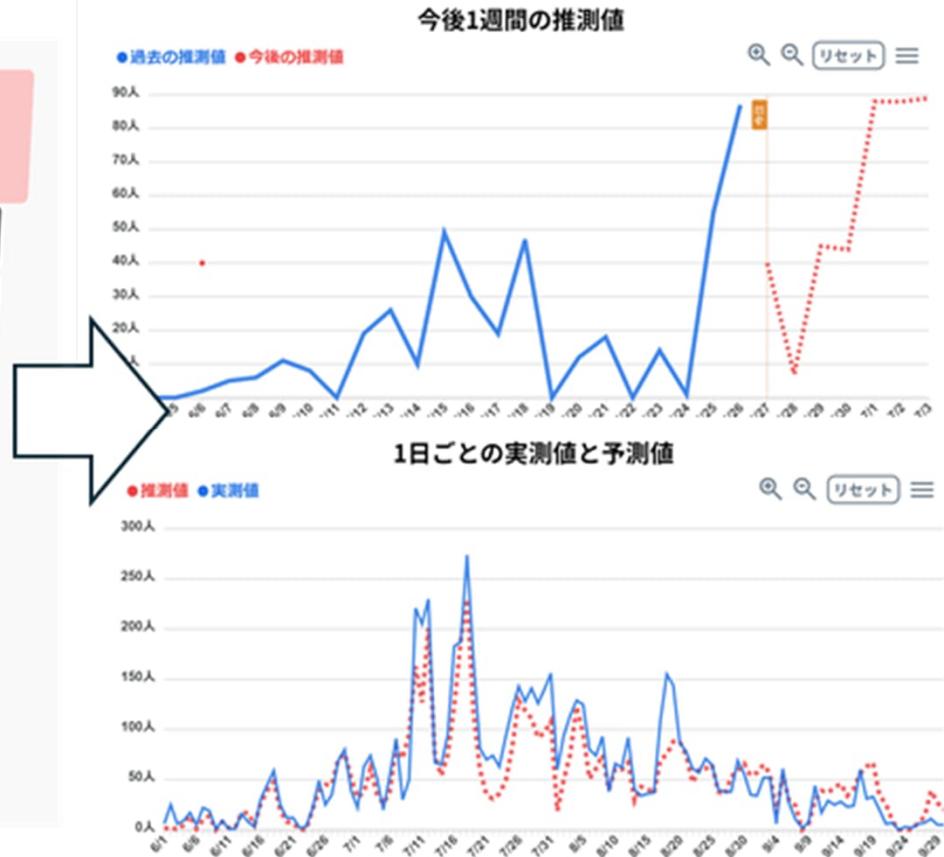
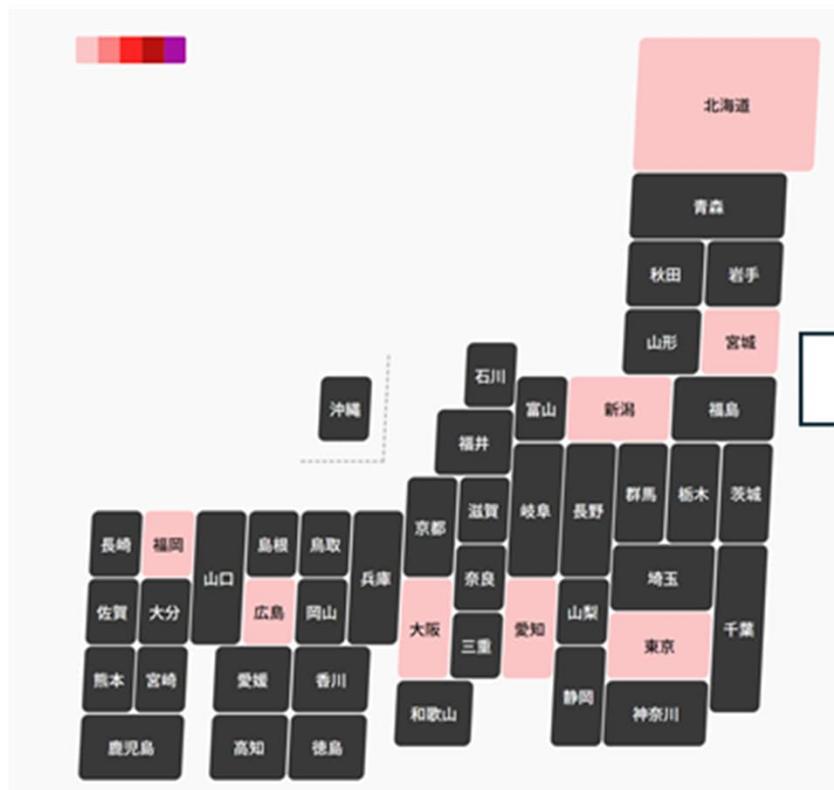
数理情報教育
リテラシーコース
応用基礎コース

企業

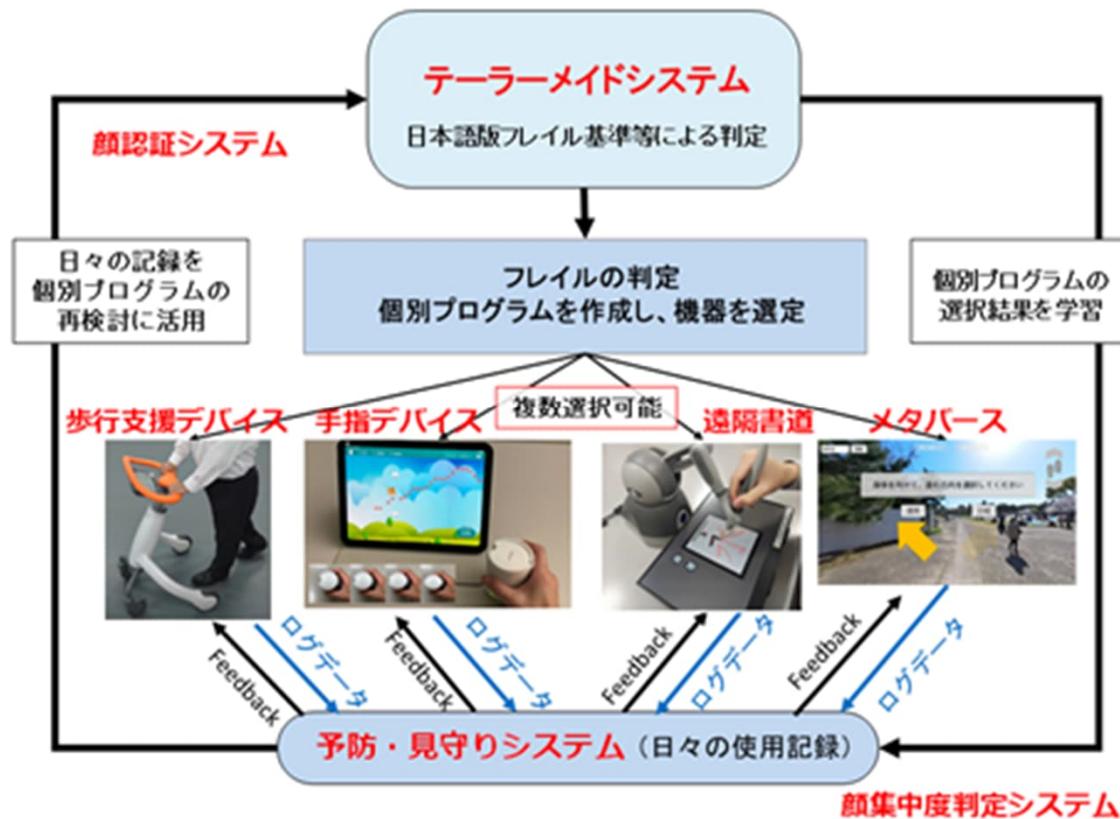
実世界産業
とAI
に関する
実務経験

未来を創る研究
私たちの生活を豊かにする発見

熱中症搬送者数予測サイトの公開



認知症予防脳トレシステム開発



偽情報対策プラットフォームの構築



地域と共に歩む 大学の社会連携活動

藤田医科大学、岐阜県恵那市との連携



小畑学長と湯澤藤田医科大学長



小坂恵那市長と小畑学長

御器所が丘にアートの風を アートフルキャンパス構想

名古屋工業大学+愛知県立芸術大学が歩む世界

ARTFUL CAMPUS

名古屋工業大学
+
愛知県立芸術大学

アートフルキャンパス 名古屋工業大学賞



心の琴線 (53号館)

転生 (2号館前広場)



アートフルキャンパス 活動紹介



図書館屋上

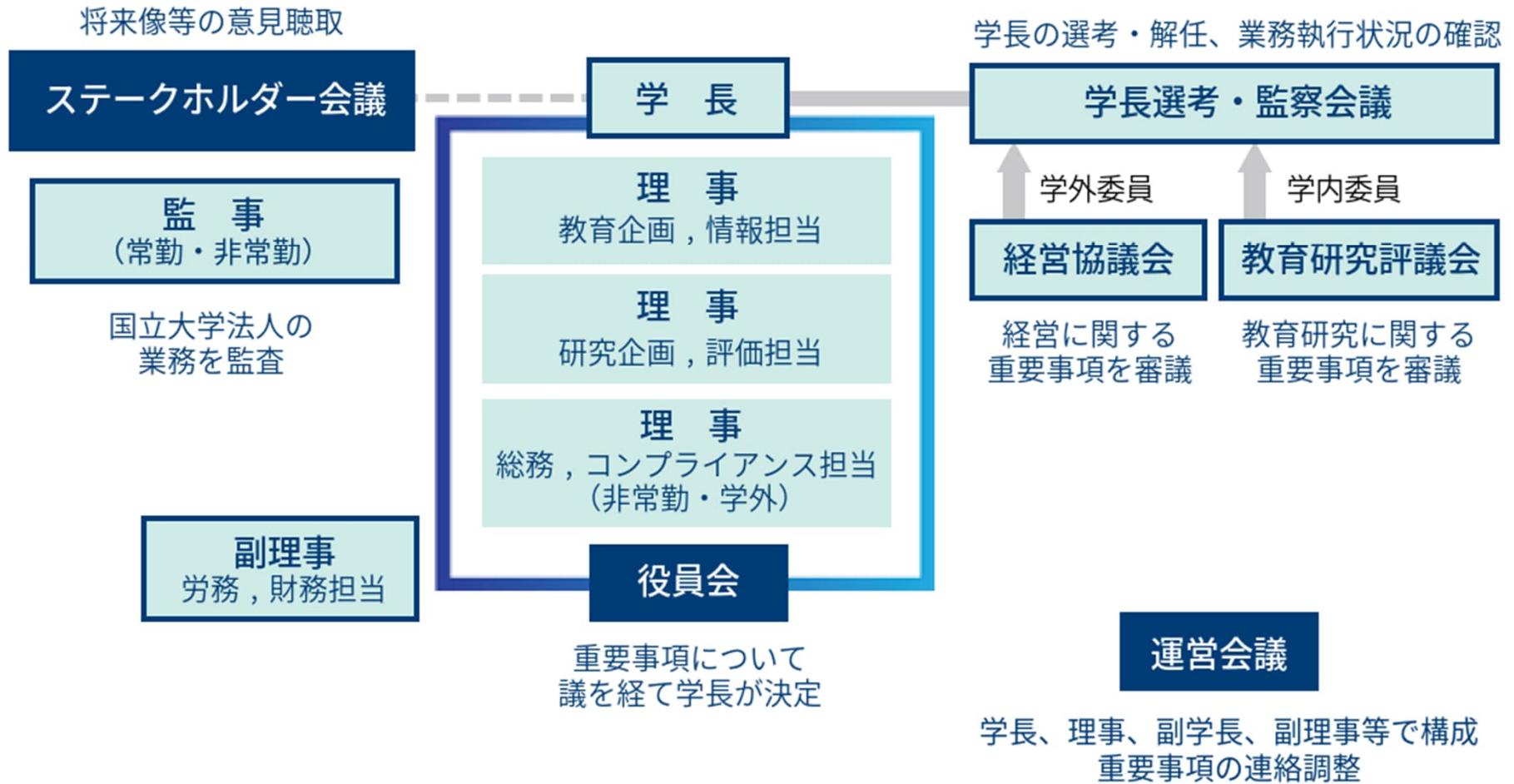


サウンドパフォーマンス特別公演

新体制始動

持続可能な運営を目指すガバナンス体制

ガバナンス体制



新監事の就任



その他トピックス

能登半島地震支援活動



ネーミングライツ事業



Sky Cafeteria (大学会館大食堂)
【Sky株式会社】

5617café (大学会館カフェテリア)
【ゴムノイナキ株式会社】



日東工業ラウンジ (19号館)
【日東工業株式会社】

デジタルサイネージ事業



中京化成工業株式会社

月島ジェイテクノサービス株式会社



CKD株式会社



寄附のお願い

世界へ羽ばたく多くの学生・研究者を支援するため、皆様からのご寄付・ご支援をお願いいたします。

基金の種類と事業内容

一般基金

- ・学生への支援
- ・学術研究振興の助成
- ・社会貢献活動への支援
- ・国際交流の推進
- ・教育研究環境等の整備充実等

特定基金

あらかじめ用途を限定した特定の活動を支援

- ・ひとづくり未来基金
- ・若手研究者支援基金
- ・アートフルキャンパス整備基金
- ・女性活躍支援基金
- ・課外活動等の支援基金
- ・その他の活動の支援基金

現物資産基金

- ・大学運営
- ・学生への支援
- ・教育研究活動への支援
- ・社会貢献活動への支援
- ・研究成果の普及及び活用の促進

2023年度基金の活用実績

一般基金

活用額 **84,239,188円**

一例

■ 学会・論文発表等を活発に行い、実績をあげた学生に奨励金給付(50名)・・・**3,000,000円**

■ 学生に対し、海外での活動を支援するために渡航旅費・滞在費を支援(39名)・・・**9,000,000円**

■ 能登半島地震被災地への簡易住宅(インスタントハウス)設置支援・・・**46,927,957円**



特定基金

活用額 **33,963,108円**

一例

■ 名工大発ベンチャー応援基金
支援スペース用の環境整備等
・・・**1,346,190円**

■ ソーラーカー部応援基金
マシン加工費、輸送費等
・・・**717,010円**



名古屋工業大学レポート2024のご案内

より詳しく 名工大の事が知りたい方へ

ステークホルダーの皆様に向けて、
「名古屋工業大学レポート2024」を発行しました。

本学の教育研究・社会貢献活動、
財務などの情報をわかりやすくお伝えし、
本学をご理解いただくための入り口となっております。

ぜひご覧ください。

詳しくは、
本学公式ホームページ>大学紹介>名古屋工業大学レポート

